

# 新春

でとうございます。

一町長一  
三輪 茂



新年あけましておめでとうござります。

平成二十一年の新春を、御家族皆様で健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、一次産業におきましては、農作物は七月下旬からの天候不順の影響を心配しておりました。が、水稻の生産状況は平年並みとなり、野菜部門は生産量、生産額ともに順調な伸びを示しました。漁業では、全道的な秋サケ漁の不漁が伝えられる中、当町におきましては総じて水揚量の増加となり、安堵したところであります。

七月二十二日・二十三日にかけての大震災害は、住宅や農地、農業施設等に被害をもたらしましたが、幸いにして人的被害はありませんでした。また、昨年は防災意識を高めるため、各種防災訓練の実施に力を注いだ年でもありました。

昨年から本年にかけては、これまで我が町の産業・経済を支えてきたものが、大きな変革を迎えることとなりました。

その一つは、平成二十一年度からホッカイドウ競馬が、新体制の公社により产地主導による運営になることです。

本年から本場として門別競馬場でナイター競馬が開催されます。

产地競馬は、地域づくりの核となるものであり、競馬と他の産業・資源との連携強化による相乗効果が期待されますとともに、新たな可能性や資源の掘り起こしにつながるものと考えております。

また、日高地区におきましては、観光振興の顔ともいべき「ひだか高原莊」を、町主導の第三セクターによる運営から民間事業者による運営に変更するなど、これまで行ってきた観光行政を再構築しているところであります。

現在進めている観光再開発ビジョンは、季節ごとににおける魅力を引き出すため、地域を見つめる目高山脈の麓に位置する優位性を最大限活かそうとする構想であります。四季を通じての自然体験型観光の推進と、積極的な情報発信を行つてまいります。

地域経済を取り巻く環境は誠に厳しい情勢にあります。健全な行政運営に努めてまいりますので、今後とも、皆様の御理解と御協力をお願ひいたします。

新しい年が町民の皆様と日高町にとりまして、希望に満ちた明るい良い年となりますよう心からお祈り申し上げまして、年頭にあたつての御挨拶といたします。

# 謹賀

新年おめで

ご



一議長一  
鹿戸作藏

新年あけましておめでとうござ  
います。

平成二十一年の年頭に当たり、  
健やかに新春をお迎えのことと心  
からお喜び申し上げます。また、  
目頃は議会活動に深いご理解とご  
協力をいただいておりますことに  
ついて、目高町議会を代表いたし  
まして厚くお礼申しあげます。

さて、昨年を振り返りますと、皆  
さん等しく「本当に大変な年であつ  
た」という感想をお持ちではないか  
と思います。昨年春から夏にかけ  
ての石油価格の急激な高騰は、日  
本中に大きな混乱を招きました。  
また、九月の米国のサブプライ  
ムローン問題が引き金となり、米  
証券大手のリーマン・ブラザーズが  
破綻したことに端を発する金融不  
安は、またたく間に世界に伝播し、  
株価の大幅な下落など各国で急速  
に経済状況が悪化しました。

こうしたことは、我が国におい  
ても、個人消費や民間の設備投資  
など実体経済の冷え込みにつなが  
り、不況感から個人の消費活動が  
停滞する状況に陥つたり、日本を  
代表する企業である自動車メー  
カーや電子機器メーカーが、昨年  
末に大幅な人員の削減や工場閉鎖  
を発表したのは記憶に新しいとこ  
ろです。

こうした厳しい状況の中で平成  
二十一年を迎えたわけありますが、  
地方自治体にとつても財政問題を  
中心として、難しい行政運営を強  
めます。

いられる状況が続いている。町  
でもより一層簡素で効率的・安  
定的な行財政運営を目指して行政  
改革に取り組んでおり、様々な分  
野で見直しを行っておりますが、  
この中には、下水道料金の改定な  
ど町民の皆様にやむなく負担増を  
お願いするものも予定されています。

私ども議会においても、議会改  
革の一環として、議員定数の削減  
に取り組み、次回の選挙から議員  
定数を現行の二十二人から七人減  
員して十五人とすることにいたし  
ました。

今後、地方分権がさらに進むに  
伴い、議決機関としての地方議会、  
それを構成する議会議員に課せら  
れた使命と役割は、ますます重要  
になると認識しています。

これからもより一層、町民の皆  
様に身近で分かりやすい議論を展  
開できるよう心がけると同時に、  
活力のある住みよい町づくりのた  
めに創意工夫を重ね、ご期待にお  
応えしたいと決意を新たにしてお  
りますので、変わらぬご支援と同  
時に叱咤激励をいただければ幸い  
に存じます。

最後になりましたが、皆様のご  
健勝とご多幸を心からお祈り申し  
あげますとともに、今年が明るく  
希望のもてる年となりますことを  
心から願い、新年のごあいさつと  
いたします。